

めあてを高く  
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校

校長室だより 5

令和 2年 7月 1日  
こん どう ふみ ひこ  
近 藤 文 彦



## …5・6年 ありんこ活動始まる… 「ありんこ活動」の意味

学校が臨時休業から再開し1か月が経過しました。図書室前の廊下の棚に「夏休みの課題図書」が並びました。夏休みが近づいてきたなあという感じがします。図書室の中では、「梅っ子ブック」の子供が、本のバーコードをセンサーで読み取り、手際よく貸し出し手続きをしていました。他校では図書委員と呼ぶのでしょうか。そして、本校では委員会活動のことを「ありんこ活動」と呼んでいます。本校に赴任し、「ありんこ活動」と言われても何のことだかわかりませんでした。委員会活動と何が違うのかもわかりませんでした。

現在、本校には、「梅っ子放送局」「給食ねこの手」「ミュージックステージ」「ハッピー梅っ子JRC」「梅っ子ブック」「梅ピカ株式会社」「QQ隊」「梅っ子スポーツ」「梅っ子花職人」「梅っ子スマイル」「MAX」の11の「ありんこ」があります。なぜ、このような名称になったのでしょうか。



【梅っ子ブックの貸し出し活動】

### ○「梅小だより 3月号」平成16年3月19日

今から16年前、ちょうど現在の校舎の建設が始まろうとしていた頃の梅小だよりの5年生のスペースに、右の記事が見つかりました。次年度に梅園小学校をリーダーとして引っ張っていくために、5年生が3学期のうちに何度も話し合いをして決めたようです。「学校を自分たちで創り上げていくために、どのような活動が必要なのか」を真剣に考えている姿が想像できます。そして、右にある21の活動が決められました。6年生になった時には学校のリーダーとなり、子供たち一人一人が豊かな発想で活動に取り組んだことでしょう。

「ドラえものの梅園ポケット」は、いったいどんな活動をしたのでしょうか。どうやらグループに分かれて、「ビーズでアクセサリ作り」「折り紙作り」「サッカー教室」などに取り組んだようです。

来年度の4月より、委員会活動が変わります

### 活動名は「ありんこタイム」

学校を自分たちで創り上げていくためにどのような活動が必要か、3学期の間に子どもたちと何度も話し合いました。そして、候補にあがったのが次の21の活動です。これまでの委員会で行われていた活動もあれば、新しい活動もあります。どの活動も子どもたちの発想で進められます。

ピカピカスクール大作戦	梅園環境保全局
そうじ道具管理人	梅っ子花職人
梅っ子ブックマシーン	キテレツ図書館
ブックマン	UJK-梅園情報発信局-
梅園タイムズ	情報いっぱいお知らせ隊
ドラえものの梅園ポケット	ワハハ集会
MUSIC STAGE	生活仮面がやってきた
ありがとうの泉	おたすけ隊
イタイタイのとんでけ隊	石けんレンジャー
給食食べるんジャー	給食ねこの手
あとしまかせろ！ やろまい会	

「ありがとうの泉」は、「梅園小学校を『ありがとう！』でいっぱい为学校にしたい」という目標でいろいろな活動に取り組んだようです。「給食ねこの手」や「MUSIC STAGE」「梅っ子花職人」は今も名前が残っています。

このように始まった「ありんこ活動」も何年も経過すると名前だけが残し、先輩の大切な「思い」が忘れ去られてしまいます。常に振り返りながら「大切にしてきたもの」を忘れないようにしたいと考えます。ありんこ活動は、リーダーとして「自分たちで素晴らしい学校に創り上げていくには、どうすればよいのか」を考えて、実践していくことだと考えます。5・6年生の子供たちが、このように自分たちで考えて実践できるように、全校の教職員でしっかり支援・指導していきたいと思ひます。当時の青木校長先生は、次のように考えて文章にしてみえます。

図書室の本の整理、新書の紹介を「梅っ子ブックマシーン」の子供たちが忙しそうに行っている。「ブックマン」の子供たちが怖い話を低学年の子供たちにしている。教室や校舎内に落ちていたゴミが無い、「梅園環境保全局」の子供たちの取り組みの成果である。「ありがとう」の言葉がいっぱい行き交う学校にしようと「ありがとうの泉」の子供たちが取り組んでいる。こうした子供たちの姿は21班の「ありんこタイム」の活動である。

「ありんこ」は毎日一人一人の子供が自分の目的に向けて日々汗を流して取り組む姿を言う。一見まとまりのないように見えるが、実は梅園小学校をよりよくするという共通の目標に向けて活動しているのである。

教師も「あり」になり、子供とともに汗を流している。

第1回ありんこ活動の様子を見て回っていると、参加する子供たちの荷物が廊下にきちんとそろえて置かれていました。通行の邪魔にならないように考えてありました。このように、ありんこ長がリーダーとなって取り組んでほしいです。これから、伝統ある「ありんこ活動」に5・6年生が取り組む中で、さらに進化し、新しい伝統を創り上げ、どのように梅園小学校を「日本一の素晴らしい学校」に創り上げていってくれるのか楽しみです。



【そろえて置かれた荷物】

## 「ふわふわ言葉」を使おう

「いつでも」「どこでも」「誰にでも」心のこもった挨拶ができると素晴らしいと考えています。学校では、登校時・下校時の挨拶はもちろんのこと、廊下ですれ違った時にも「こんにちは」と気持ちの良い挨拶ができるように指導しています。相手と目を合わせ、相手を意識して聞こえる声で挨拶ができるようになってほしいです。自分から挨拶ができる子供も増えてきました。近頃気づいたのですが、挨拶をするときに自然と頭を下げる子が多いことに感心しています。きっと、家族の方がしているから自然にできるのだと思います。子供たちは家庭でどのような言葉を使っているのでしょうか。時々「ちくちく言葉」を耳にします。私たち大人が、挨拶とともに「ありがとう」「うれしいよ」「助かったよ」「すてきだよ」などの「ふわふわ言葉」をたくさん使うことが大切だと思います。

